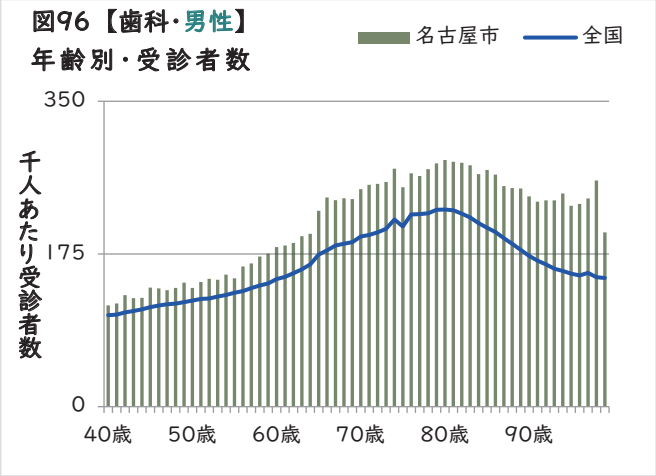
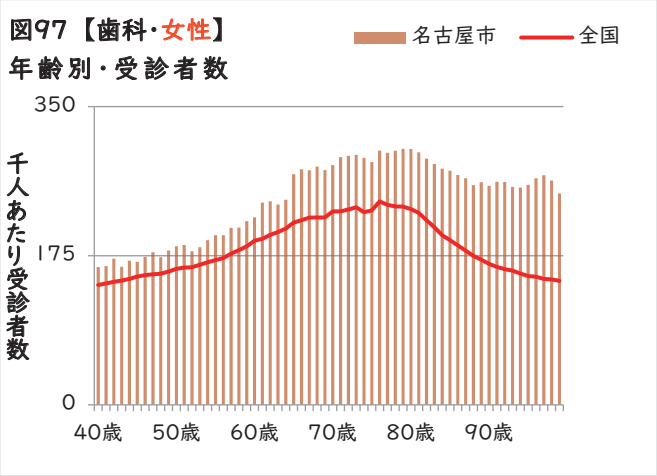
ウ オーラルフレイル

歯科の医療費データは入院・外来の別がなく千人あたりの受診者数で示します（図96、97）。名古屋市・全国ともに受診者数は80歳まで上昇を続け、以降徐々に減少します。名古屋市の受診者数は全年齢で全国を上回りますが、65歳以上で年々拡大しています。



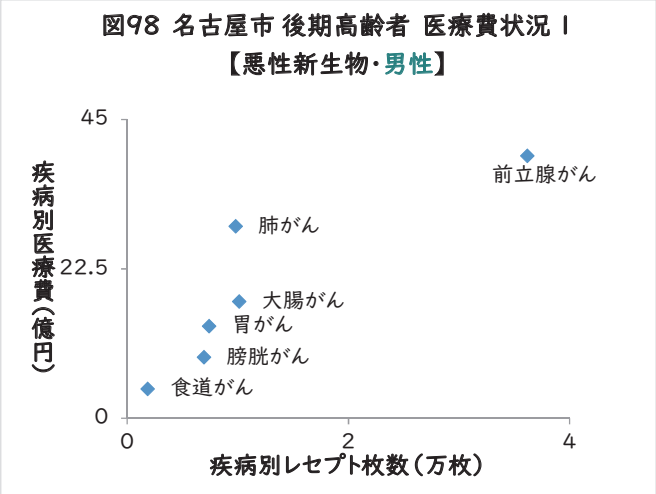


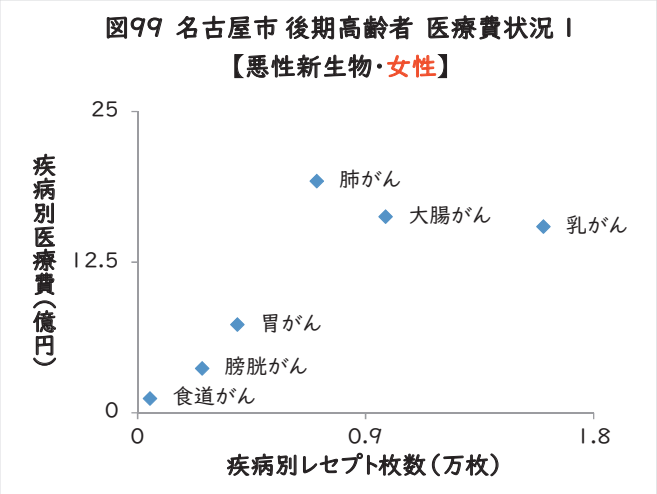
出典：国保データベース（KDB）システム

（4） 悪性新生物

悪性新生物では、男女別に疾病別医療費上位6疾病（男女共通・5疾病：肺がん、大腸がん、胃がん、膀胱がん、食道がん、男性のみ：前立腺がん、女性のみ：乳がん）を対象として分析しました（図98、99）。男性では前立腺がん、女性では乳がんの疾病別レセプト枚数（入院レセプトと外来レセプトの合計枚数）が突出しています。

患者数（レセプト枚数）が多ければ医療費も上昇しますが、肺がんの医療費は同程度の疾病別レセプト枚数のがんと比較すると高額です。





出典：国保データベース（KDB）システム

入院レセプト1枚あたりの医療費は悪性新生物により幅が大きく、疾患別の治療内容に依存していると考えられます。一方、外来レセプト1枚あたりの医療費は、男女とも肺がんが高額であり、外来での薬物療法の影響がうかがわれます（図100、101）。

図100 名古屋市 後期高齢者 医療費状況2
【悪性新生物・男性】

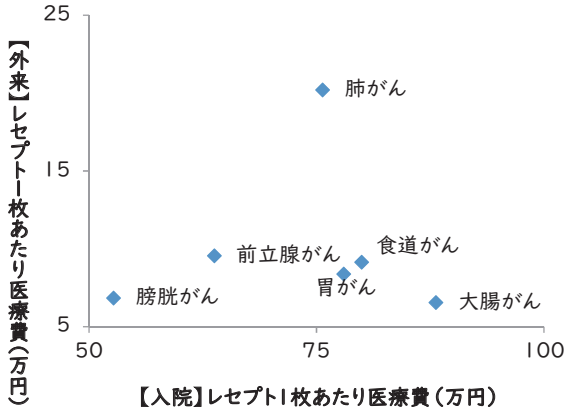
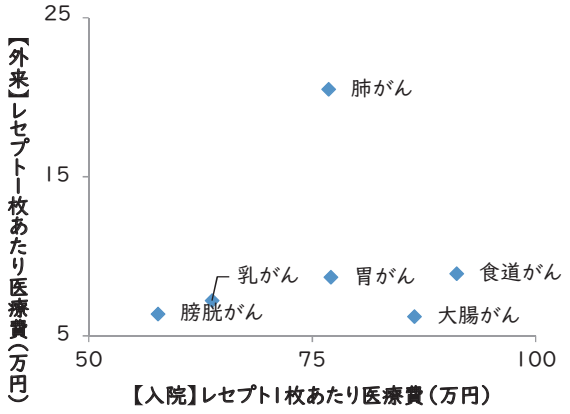


図101 名古屋市 後期高齢者 医療費状況 2
【悪性新生物・女性】



出典：国保データベース（KDB）システム

悪性新生物の標準化医療費は、男性の食道がんは全国平均より低く、前立腺がんと胃がんは全国と同程度、それ以外は全国より高額です。女性の食道がんは全国と同程度ですが、それ以外は全国より高額です（図102、103）。

図102 名古屋市 後期高齢者 標準化医療費
【悪性新生物・男性】

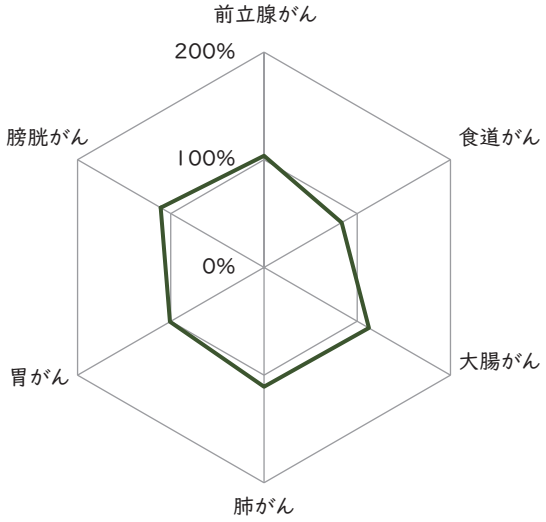
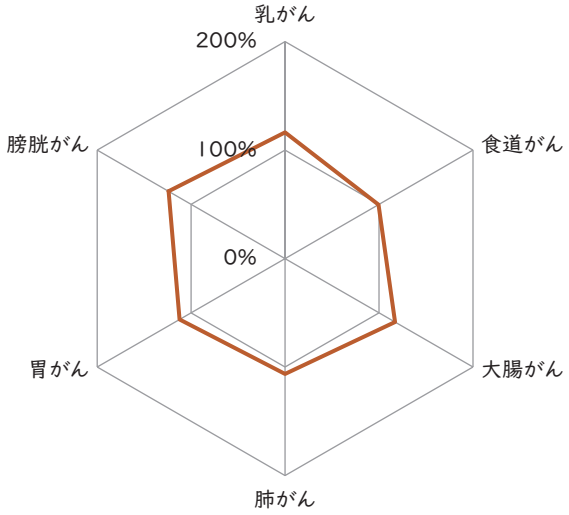


図103 名古屋市 後期高齢者 標準化医療費
【悪性新生物・女性】



出典：国保データベース（KDB）システム

特に罹患者の多い、前立腺がん（男性のみ）・乳がん（女性のみ）・大腸がん・肺がんについて、過去5年間の医療費を示します（図104～図109）。男性の大腸がんを除き、医療費は増加傾向にあります。また、女性の乳がんの標準化医療費が徐々に上昇しています。

図104 前立腺がん【名古屋市・男性】

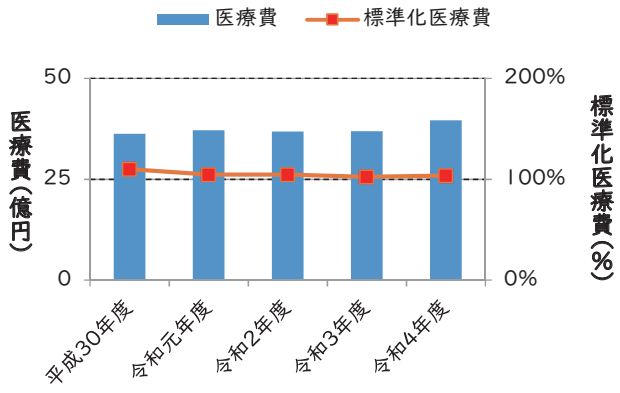


図105 乳がん【名古屋市・女性】

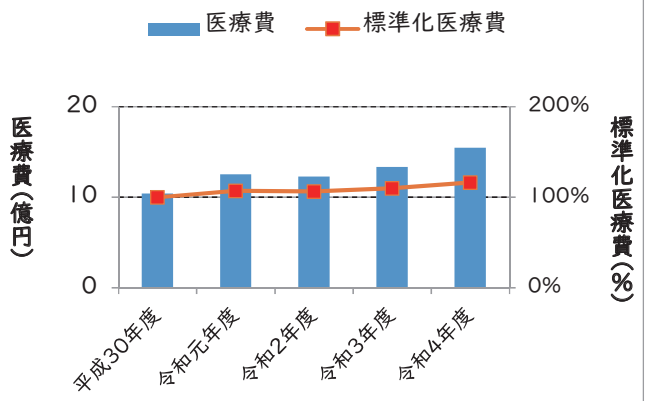


図106 大腸がん【名古屋市・男性】

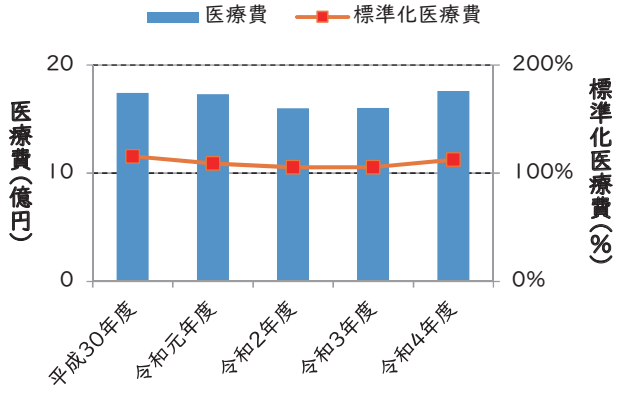


図107 大腸がん【名古屋市・女性】

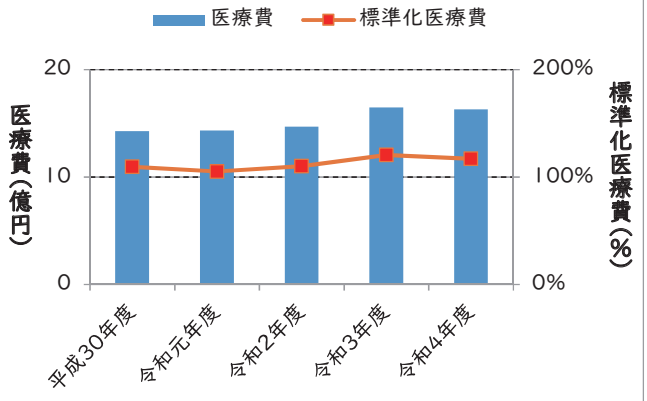


図108 肺がん【名古屋市・男性】

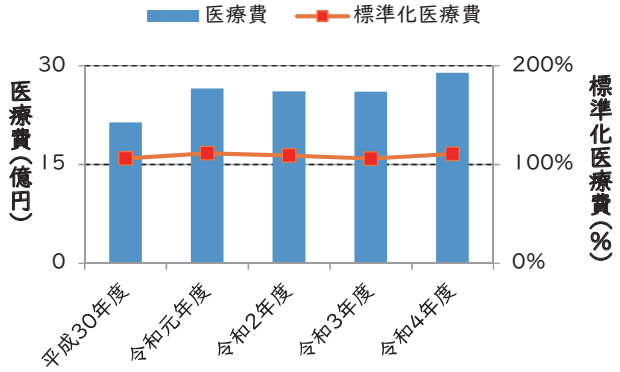
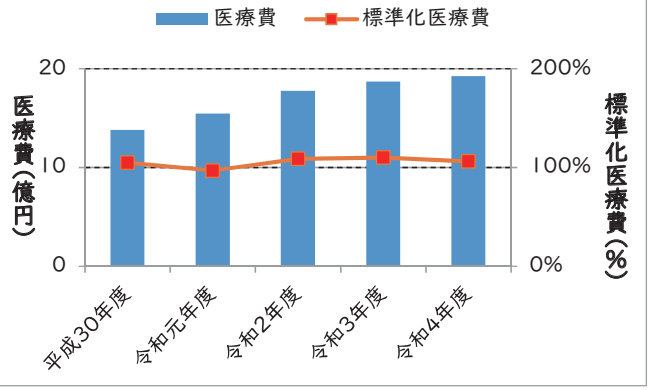


図109 肺がん【名古屋市・女性】



出典：国保データベース（KDB）システム

悪性新生物の年齢別の千人あたりレセプト枚数は、名古屋市と全国平均とは同様の動向を示しています（図110～115）。

前立腺がんの外来レセプト枚数は50歳代後半から増加を始め、80歳代後半でピークになります。一方、乳がんは40歳前から増加が始まり、50歳代で緩やかになりますが、70歳代半ばまで増加しています。前立腺がん、乳がんの入院レセプト枚数は他のがんと比較すると入院レセプト枚数の比率が小さく、また、年齢による明らかな入院レセプト枚数の増減もありません。

大腸がん・肺がんはともに男性のレセプト枚数が女性を上回り、また、男女ともに40歳代から外来レセプト枚数が増加し、75歳前後でピークになり、5～8年経過後に減少傾向となります。

図110【前立腺がん・男性】
年齢別・千人あたりレセプト枚数

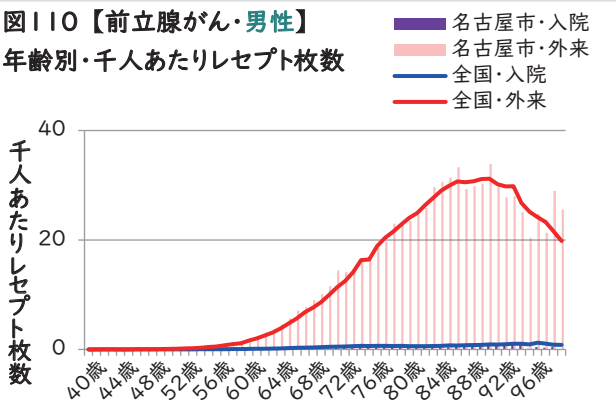


図111【乳がん・女性】
年齢別・千人あたりレセプト枚数

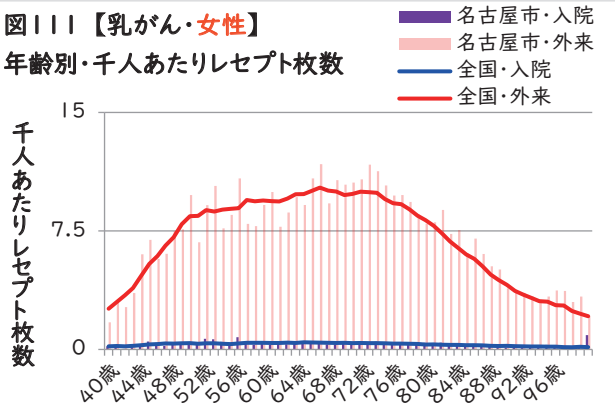


図112【大腸がん・男性】
年齢別・千人あたりレセプト枚数

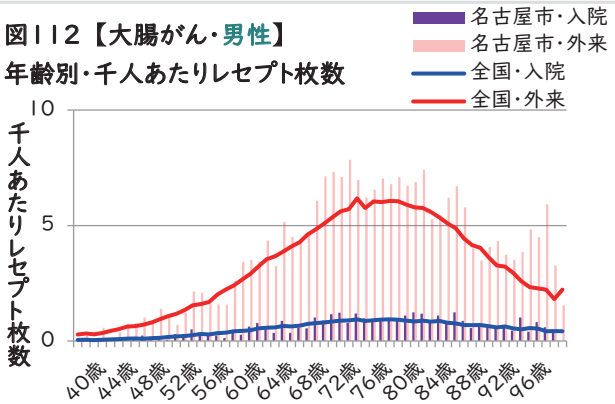


図113【大腸がん・女性】年
齢別・千人あたりレセプト枚数

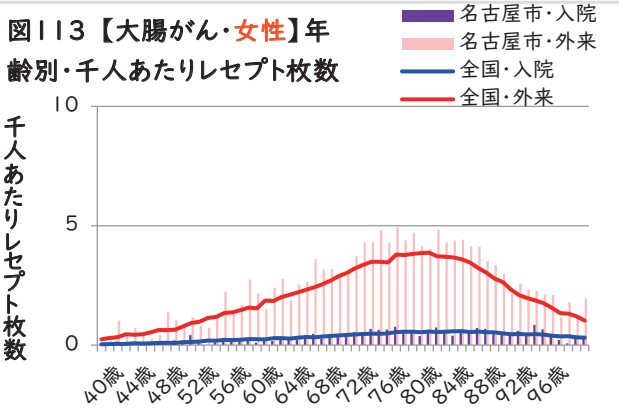


図114【肺がん・男性】
年齢別・千人あたりレセプト枚数

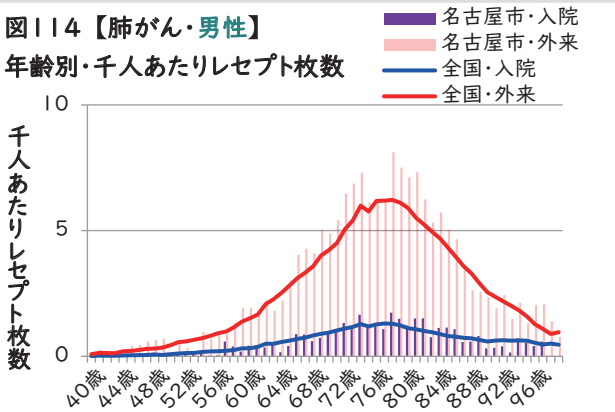
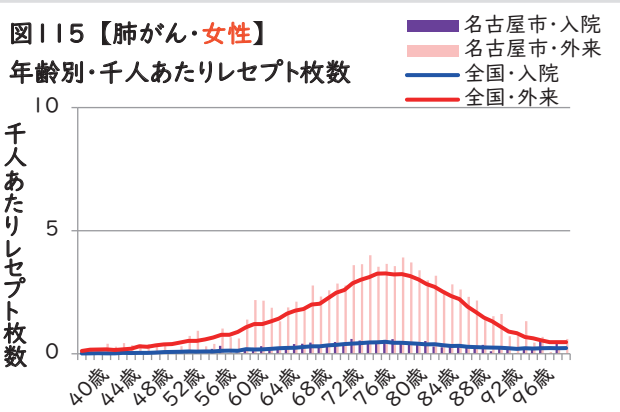


図115【肺がん・女性】
年齢別・千人あたりレセプト枚数



出典：国保データベース（KDB）システム

（5） その他の疾患

ア 慢性腎臓病（透析あり）

慢性腎臓病（透析あり）の疾患別医療費は、名古屋市後期高齢者で5位となっています（26ページ図38参照）。男女ともに標準化医療費は減少傾向ですが、令和4（2022）年度の標準化医療費は男性119%、女性117%と高い値を示しています（図116、117）。

図116 慢性腎臓病（透析あり）
【名古屋市・男性】

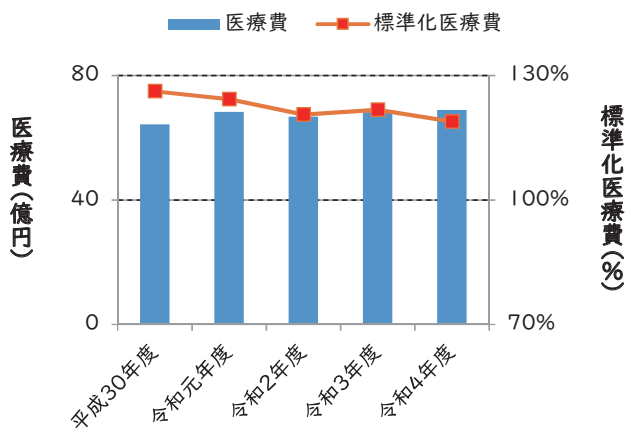
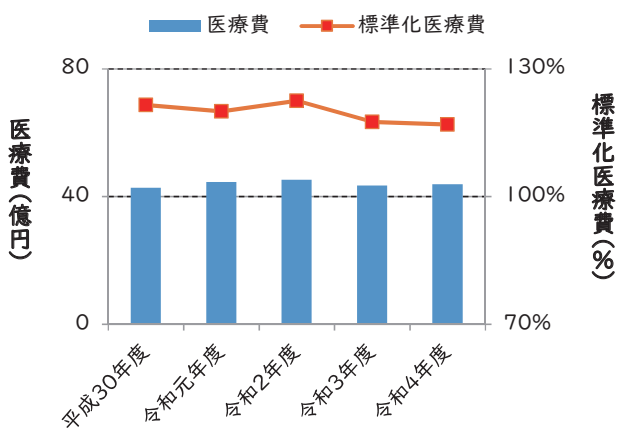


図117 慢性腎臓病（透析あり）
【名古屋市・女性】



出典：国保データベース（KDB）システム

男性の外来レセプト枚数は60歳までは年齢とともに増加します。全国男性は、60歳以降から80歳代後半までは大きな変化がなく推移しています。それに対し、名古屋市男性は60歳代後半まで増加を続け、その後も全国より高くなっています。80歳代後半から名古屋市・全国ともに外来レセプト枚数は減少に転じます。女性の外来レセプト枚数も男性と比較すると緩やかですが60歳までは増加し、男性と同様に80歳代後半までは変化なく推移しています。名古屋市女性の外来レセプト枚数は60歳代後半から70歳代前半にかけて全国より上回っています（図118、119）。

図118【慢性腎臓病（透析あり）・男性】
年齢別・千人あたりレセプト枚数

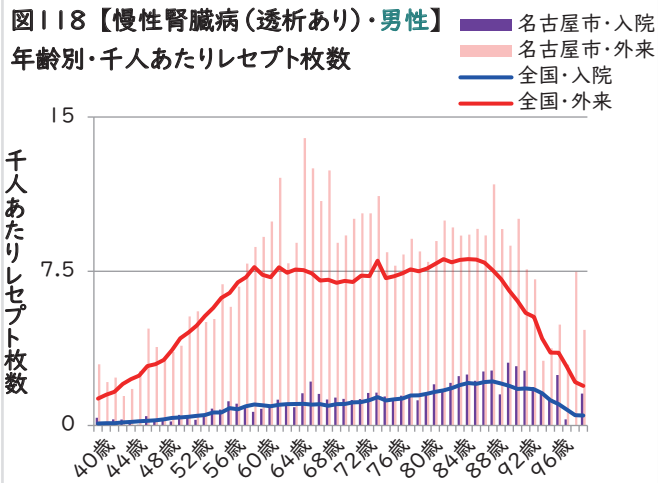
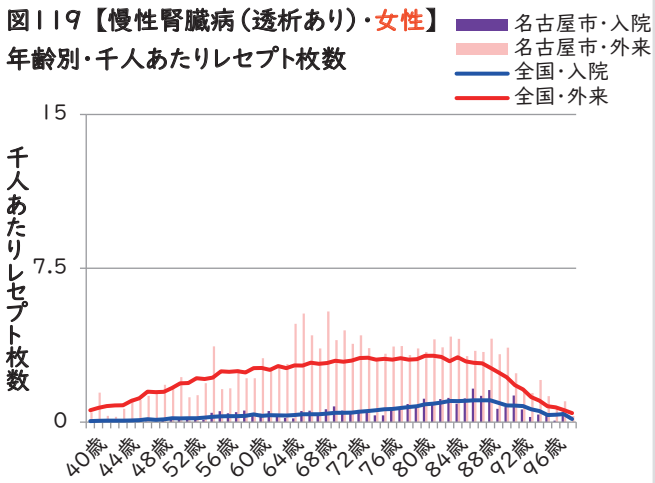


図119【慢性腎臓病（透析あり）・女性】
年齢別・千人あたりレセプト枚数



出典：国保データベース（KDB）システム